楽譜基礎

楽典和声講座 #01 ~ 楽譜の読み方・拍子とリズム

今回扱う内容は……

- 1. 音の読み方~どの音がドの音?
- 2. 調号と臨時記号~どこまでかかる?
- 3. リズムの読み方 ~ 音符と休符
- 4. 拍子の読み方 ~ 4拍子? 3拍子?

1. 音の読み方 ~ どの音がドの音?

楽典和声講座 #01 楽譜基礎 ~ 楽譜の読み方・拍子とリズム

音部記号は(主に)2種類ある!

卜音記号

女声とテノールの楽譜に使われる。 テノールでは、下に8がついていることも。



へ音記号

主にバスの楽譜に使われる。

一部の曲ではテノールにも使われる。





ト音記号の場合

どこがドなのか、一番上と一番下の線に乗っている音は何の音か、など覚えやすいところから覚えましょう。



へ音記号の場合

どこがドなのか、一番上と一番下の線に乗っている音は何の音か、など覚えやすいところから覚えましょう。

ソラシドレミファソラシドレミファソラシ



レミファソラシドレミファソラシドレミファ

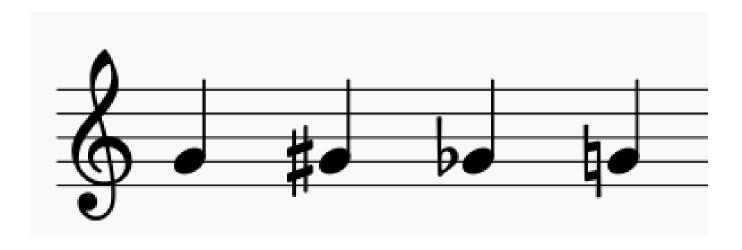
大譜表でみてみよう

ト音記号とへ音記号の2段を並べた楽譜を大譜表といい、ピアノの楽譜でよく用いられます(合唱にはあまりみられない)。 大譜表の真ん中にあるドが、いわゆる「真ん中のド」です。

2. 調号と臨時記号 ~どこまでかかる?

楽典和声講座 #01 楽譜基礎 ~ 楽譜の読み方・拍子とリズム

#やりの付く音



先ほどお教えしたように、これらの音は「ソ」です。

しかし、音符の前に#・♭・片という記号がついています。

これってどういう意味でしたっけ? (わかりきってるという人も今しばらくお付き合いください)

臨時記号(#・>・国)の意味

⇒ ♯(シャープ) : 半音上げる

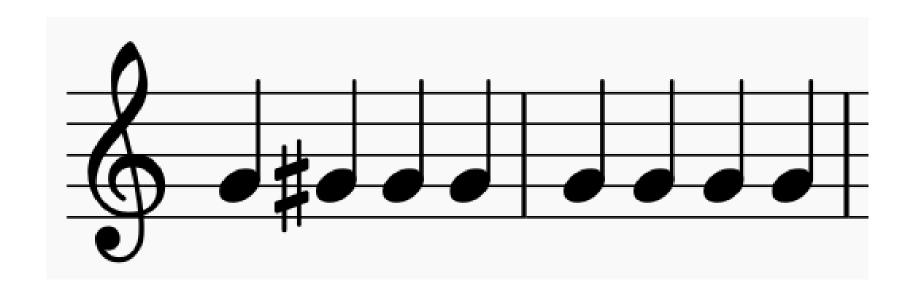
▶ ♭(フラット) :半音下げる

▶ 口(ナチュラル):元に戻す



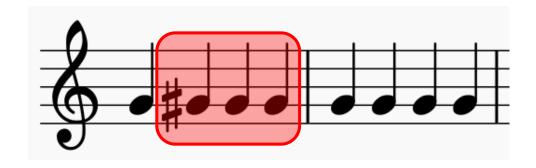
ソ# ↑半音上 ソ ↓半音下 ソ♭

「元の音から半音」なので、#の後に b が来ても「ソ#から半音下がってソ」ではなく、「ソから半音下がってソ b 」となります。

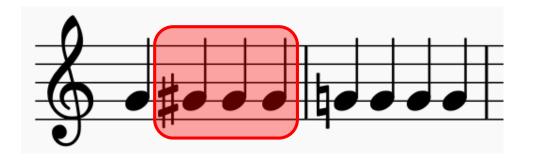


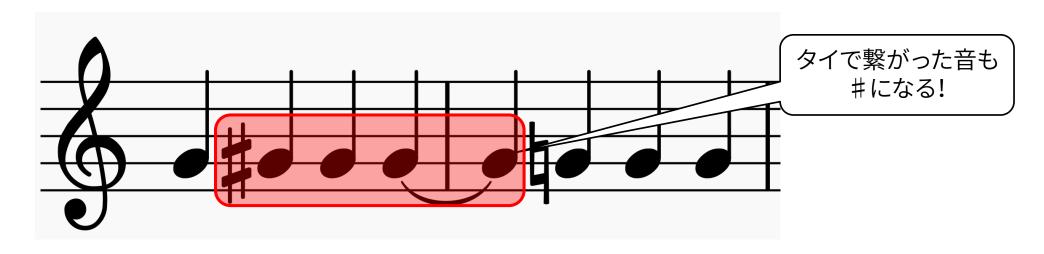
では、この場合はどこからどこまでがソ#になるでしょう。

- ➤ 臨時記号は小節の終わりまで 効果を持つ
 - ✓ 赤枠内がソ#
- ▶ 誤解を招くので下の図のように 日を書くのが普通
 - ✓ 稀に書いていない楽譜もある

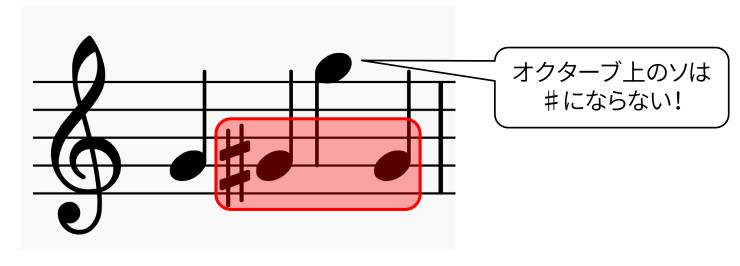


↑同じ意味





- ▶ タイ(後述)で小節外に繋がった音符にも臨時記号は効力を持つ
 - ✓ 赤枠内がソ‡
 - ✓ オクターブ上・下の音には効力をもたない



- ▶ 臨時記号は全く同じ高さの音にのみ効力を持つ
 - ✓ 赤枠内がソ#
 - ✓ オクターブ上・下の音には効力をもたない
 - ◆ 〔発展〕 ただし、スラーでつながれている場合、効力をもつ場合がある

(発展) ダブルシャープ・ダブルフラット



ダブルシャープ =全音上げる

ダブルフラット =全音下げる

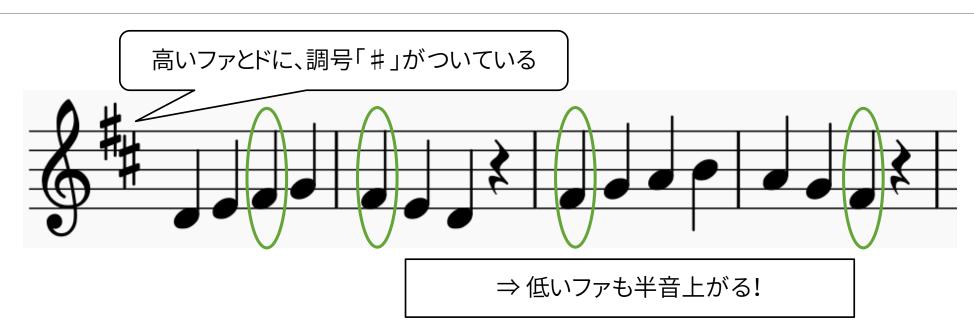
ダブルシャープ・ダブルフラットともにあまり見かけないが、無意味な記号かというとそういう わけでもない。調と移動ドについての知識があれば、ちょっとは存在意義がわかるかも。

調号

- ➤調号は**音部記号のすぐ隣**に書かれる
 - ✓ 記号の種類は臨時記号と同じ#・♭
- ➤調号はその曲の**調を示す**
 - ✓ 詳しくは「調と移動ド」の回で
- ▶調号は**次に調号が現れるまで**効果をもつ
 - ✓ つまり、転調するまで効果をもつ
 - ✓ cf. 臨時記号の効力は小節の終わりまで



調号の効力

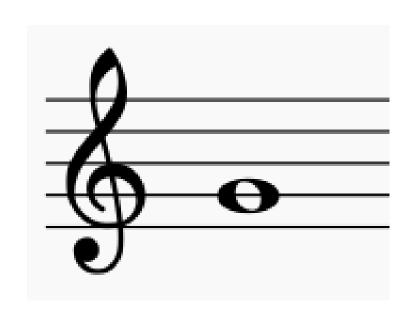


- ▶調号は「代表」として書かれているにすぎない
 - ✓ 上の例:高いファに調号がついていれば、低いファも調号の影響を受ける

3.リズムの読み方~音符と休符

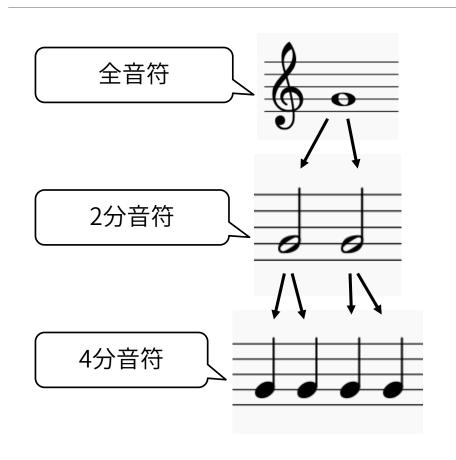
楽典和声講座 #01 楽譜基礎 ~ 楽譜の読み方・拍子とリズム

全音符



- >楽譜にマルだけが書かれている
 - ✓ 全ての音符の長さの基準となる
 - ✓ ふつう、4拍の長さと呼ばれる

2分音符•4分音符



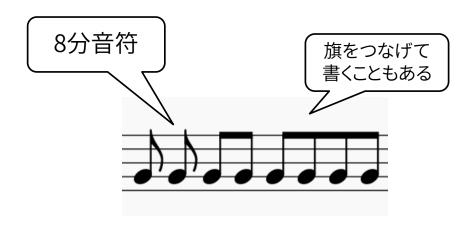
▶2分音符

- ✓ 全音符のマルに棒がつく
- ✓ 全音符を**2**つに**分**けた長さ
- ✓ ふつう、2拍の長さと呼ばれる

▶4分音符

- ✓ 2分音符のマルを塗りつぶす
- ✓ 全音符を4つに分けた長さ
- ✓ ふつう、1拍の長さと呼ばれる

8分音符·16分音符 etc.



16分音符

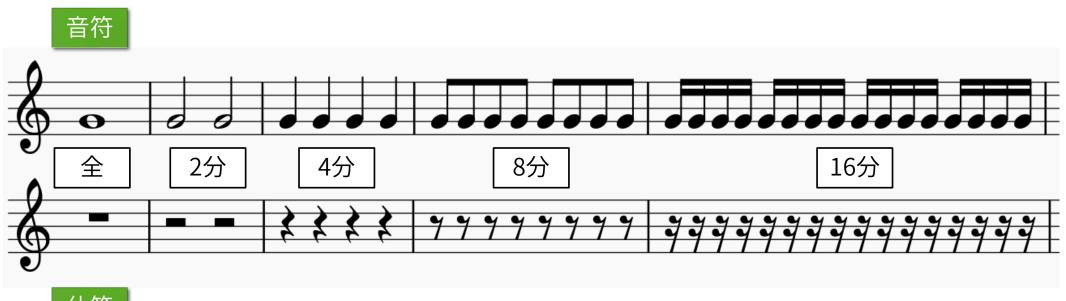
- ▶8分音符
 - ✓4分音符の棒に旗がつく
 - ✓ 全音符を8つに分けた長さ
 - ✓ ふつう、2分の1拍と呼ばれる
- ▶以降、旗を増やすごとに……
 - ✓ 16分・32分・64分……となる
 - ✓ 長さは半分となる

休符



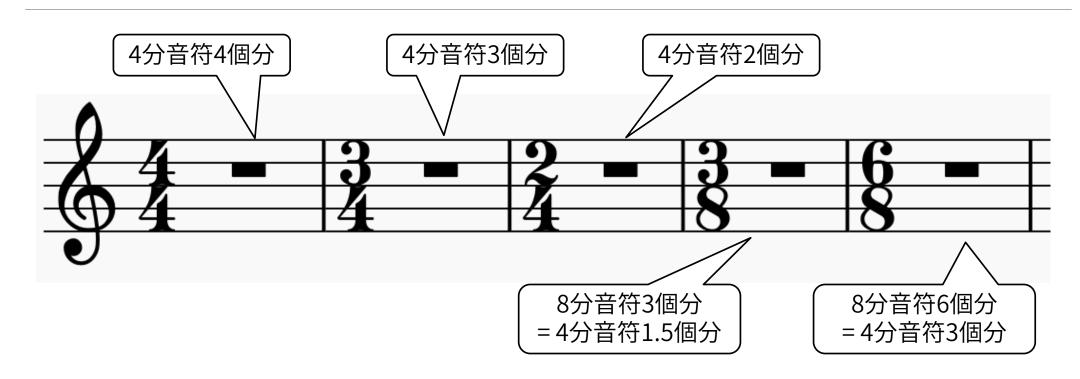
- ▶休符 = 「音を鳴らしてはならない」の記号
 - ✓ 休符の長さは対応する音符と同じ
 - 例えば、4分休符は4分音符と同じ長さ

〔まとめ〕音符・休符



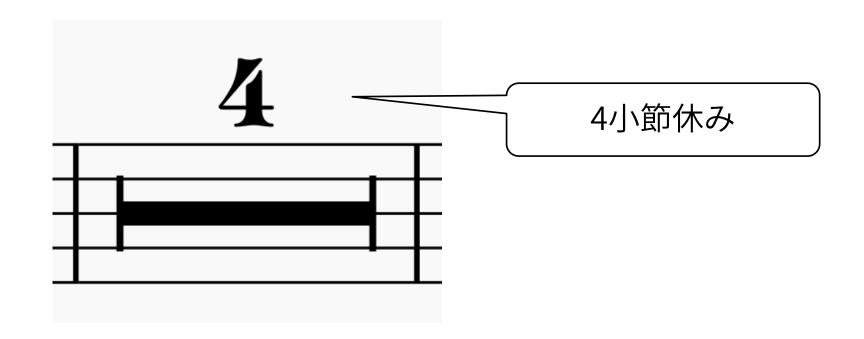
休符

(発展) 全休符の長さについて



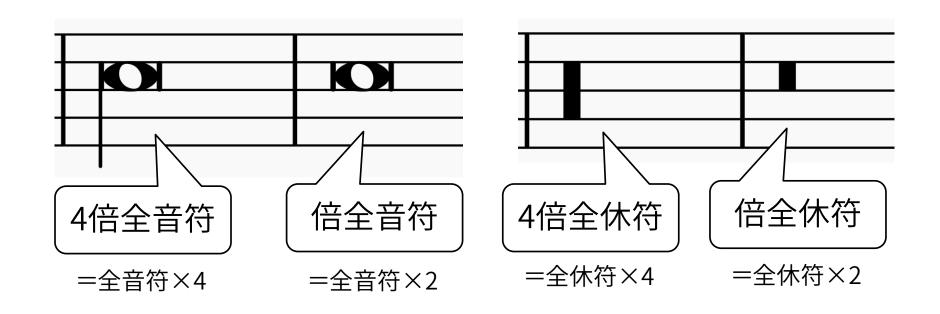
全休符は「一小節休み」の意味でも用いられるので、常に同じ長さを指すとは限らない。

〔発展〕 長休符



あるパートが長い間休む場合、全休符をたくさん書くかわりに長休符を用いることがある。

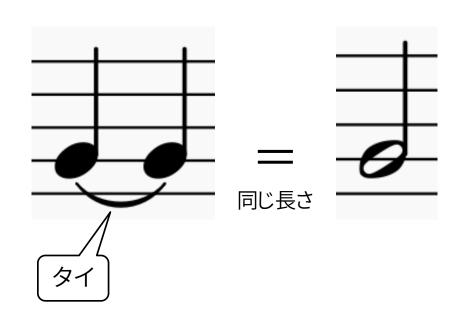
〔発展〕長い音符・休符



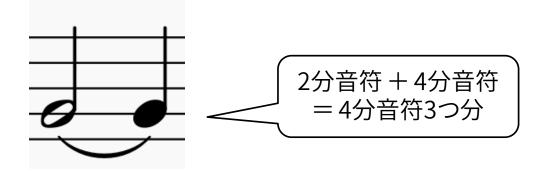
全音符より長い音符や、全休符より長い休符も存在する。

現代ではあまりみられないが、倍全音符は2分の4拍子などの場合に稀に登場する。

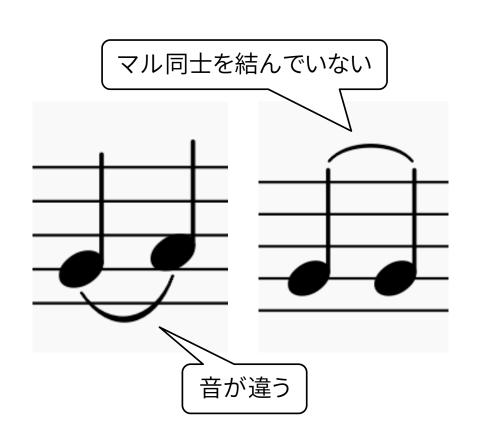
タイ



- ▶同じ音の音符のマル同士を繋ぐ線
- ▶タイで結ばれた音符はつなげる
 - ✓ 合唱なら「言い直さない」



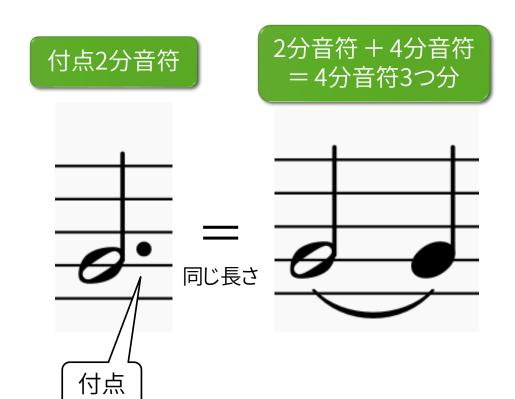
タイと似て非なる記号



▶スラー

- ✓「滑らかにつなげる」の意味
 - 「レガート」を示す記号
- ✓ 記号自体はタイと同じ
- ✓以下の場合はタイではなくスラー
 - 結ばれた前後の音が違う
 - 線がマル同士を結んでいない
 - 3つ以上の音にまたがっている

付点(ふてん)



- ▶音符のすぐ右に書いてある点
 - ✓ 休符にも書ける
- ▶その音符を1.5倍の長さにする
 - ✓ 半分の音符の3つ分
 - ✓ 元の音符に半分の音符を足す

付点(ふてん)



〔発展〕 複付点

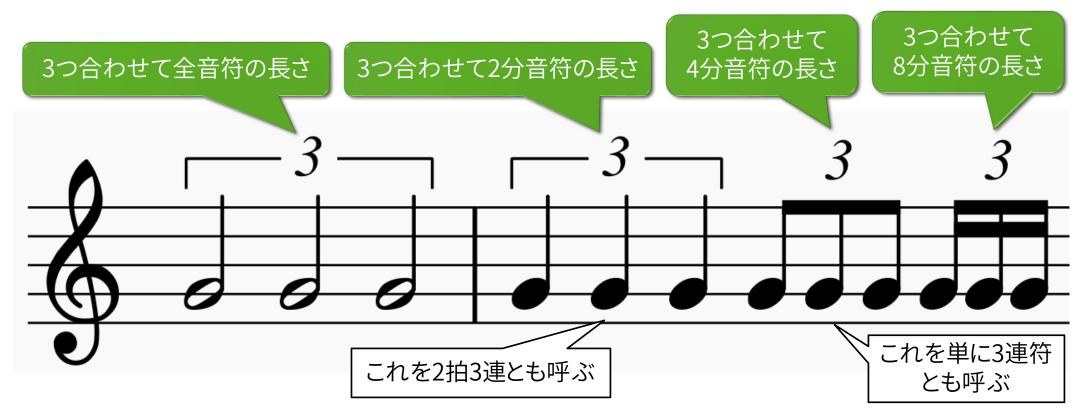
複付点2分音符 = 2分音符 + 4分音符 + 8分音符 = 8分音符7つ分 複付点4分音符 = 4分音符 + 8分音符 + 16分音符 = 16分音符7つ分



付点が2つ付いた場合、「複付点」と呼ばれ、元の1.75倍となる。 付点は直前のものの半分の長さを表すので、付点に付いた付点は 元の音符の4分の1の長さを表す。 $1 + \frac{1}{2} + \frac{1}{4} = 1.75$ 。

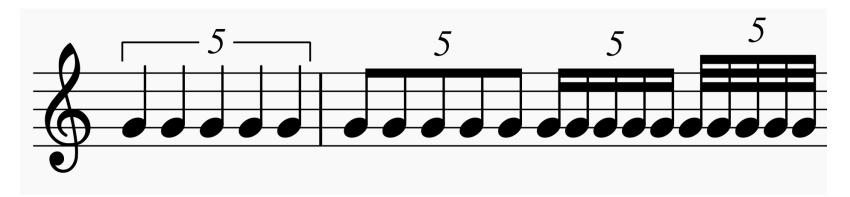
複付点8分音符 = 8分音符 + 16分音符 + 32分音符 = 32分音符7つ分

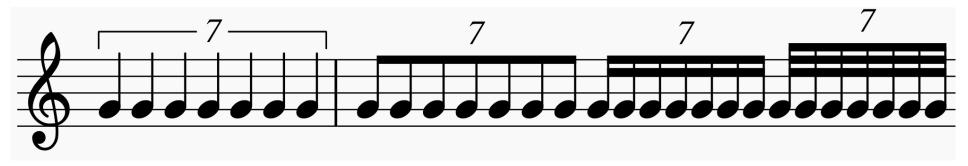
3連符



▶書かれている音符の2倍の長さを3等分して演奏する。

〔発展〕 5連符・7連符





5連符や7連符も存在する。書かれている音符の4倍の長さを5等分・7等分して演奏する。

4.拍子の読み方 ~ 4拍子? 3拍子?

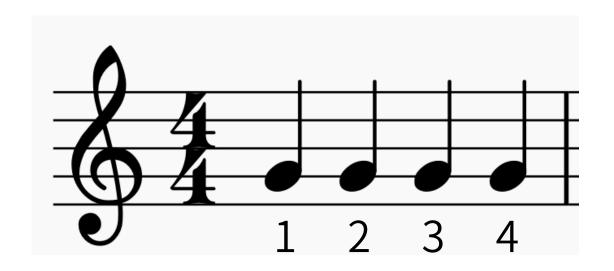
楽典和声講座 #01 楽譜基礎 ~ 楽譜の読み方・拍子とリズム

拍子記号



- ▶曲はいくつもの「小節」から成る
 - ✓ 小節:縦線で区切られた区間
 - ✓ 小節の長さは曲により異なる
- ▶小節の長さを決めるのが「拍子記号」
 - ✓ 左図の場合、分数のように「4分の4拍子」と読む

拍子記号



- ▶4分の4拍子
 - ✓ 「4分」音符が「4」つで1小節
 - ✓「4拍子」の曲

様々な拍子記号



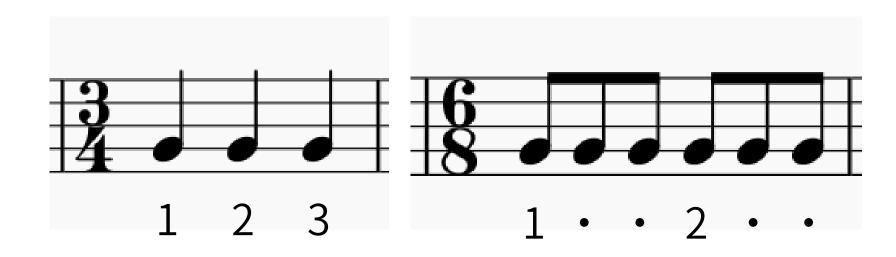
特殊な拍子記号





- ▶4分の4拍子と2分の2拍子には別の書き方がある
 - ✓ 昔の拍子記号の名残り

〔発展〕拍子記号は約分できる?



8分の6拍子と4分の3拍子は、8分音符6個=4分音符3個なので確かに小節の長さは同じである。 だが、拍の取り方が異なるので、一般に書き換えはできない。

また、8分の6拍子は「付点4分音符2つ分」を便宜上「8分の6」と書いているにすぎないと言われている。 同じことが「4分の4」と「2分の2」にも言える。

今回扱った内容

- 1. 音の読み方~どの音がドの音?
- 2. 調号と臨時記号~どこまでかかる?
- 3. リズムの読み方 ~ 音符と休符
- 4. 拍子の読み方 ~ 4拍子? 3拍子?

Next: #2 音の呼び方 ~ 日独伊三国音名